

# 新人看護職員 教育支援プログラム

色付き部分は部署で設定

部署: \_\_\_\_\_

新人氏名: \_\_\_\_\_

プリセプター: \_\_\_\_\_

サポーター: \_\_\_\_\_

到達目標	赤十字の看護師として、赤十字の社会的な背景や活動について理解し、災害時に瀬期待される役割について考えることができる。必要となる基礎的知識を身につけ、基本的な看護手順に従い、指導や助言を得ながら看護を実践する。自分の役割と責任を認識し、自分の能力を超えた看護が求められる場合には、自ら支援や指導を得る。赤十字の基本原則を理解した上で、優先順位を決定し、日常業務・生活の中で適応できることを目指す。看護者の倫理綱領を知っており、対象を一個人として尊重する。倫理的ジレンマに陥った時、赤十字の基本原則に基づいて行動しようとしている。国内外の社会情勢や保健・医療・看護・福祉の動向及び自施設のある地域の特性と健康問題に関心を持つことができる。												
部署の新人教育支援方針													
成長過程	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
3か月目標	<b>職場適応の時期・組織人として規律を身につける時期・看護職員として自覚と責任をもつ時期</b> ・病院・看護部の理念や目標が理解できる ・所属部署の概要・看護目標・体制について理解できる ・職場の雰囲気になれる事ができる ・自分の健康管理ができる(通年) ・社会人としての基本的なルール・マナーが習得できる ・指導のもと基本的な日常生活の援助ができる ・3か月まで達成の看護技術の自己・他者評価が実施できる ・夜勤看護業務の流れを理解できる						<b>看護実践力を強化する時期・メンバーとしての役割を習得する時期</b> ・指導・助言のもと部署における代表的な疾患の看護計画を立案、実施、評価ができる ・指導・助言のもと優先順位を考え看護実践できる ・緊急時、指示に沿って行動できる ・カンファレンスなどで自分の意見を言うことができる			・助言のもと患者の個性をふまえた看護が実践できる ・周りの状況に目を向けメンバーと協力することができる ・12か月まで達成の看護技術の自己・他者評価が実施できる ・部署の特殊性から求められる看護を言葉や文章で表現できる ・経験からの学びや大切にしている看護を言葉や文章で表現できる ・1年を振り返り、次年度の課題を明確にできる			
目標管理	□目標立案・目標面接			□中間評価・中間面接			□年度末評価・育成面接						
部署教育	支援体制	プリセプター、サポーター スタッフ全員による支援 * 指導上の留意点、採血・注射等の実施に関する指導指針は手引き書を参照											
	ラダー	レベル I 申請に向けた取り組み			□看護技術3か月評価			□看護技術6か月評価 □レベル I 指標評価			□看護技術12か月評価 □レベル I 指標評価 レベル I 申請開始可能		
	部署新人目標 役割拡大	例) □病棟の1日の流れを知る □日勤業務の流れが分かる	□入退院時の看護	□早出・遅出看護業務の経験	□休日勤務開始	□受け持ち患者の看護過程の展開	□チーム移動				□夜勤内回り		
	指導内容	例) □病棟オリエンテーション * 担当者を明確	□役割拡大時のオリエンテーション	□与薬業務の指導・フォロー	□12誘導心電図の装着演習		□チーム移動時のフォロー						
集合教育	教育	□新入職員研修	□薬品管理	□新人に起こりやすい事故	□血液製剤の管理	□フィジカルアセスメント	□人工呼吸器装着中の看護院内留学						
		□車椅子への移乗	□インスリン療法	□患者誤認防止	□赤十字概論 I・II		□ナラティブ	□看護過程					
		□採血・注射技術	□輸液・シリンジポンプ	□誤刺防止	□リフレッシュ研修(事前レポートあり)		(事前レポートあり) □二次救命処置	□多重課題	□がん化学療法の安全な投与				
	記録	□電子カルテ							□看護過程				
	倫理				赤十字 II に看護倫理 I を含む			□医療安全KYT					
	業務				□看護必要度				□看護必要度テスト	□看護研究発表会			
看護部支援	他	□防災訓練参加(時期未定)			□防災訓練参加(時期未定)								
		医療安全研修、院内感染対策研修、高齢者医療研修、NST研修、ホスピタリティ研修、院外研修など											
	新人支援ラウンド	→											
	新人マーク				希望者延長			→					
面接				□教育師長3か月面接				□看護部面接	□教育師長年度末面接				
評価	□卒業時現有能力評価						□看護技術チェックリスト達成率				□レベル I 指標達成率 □看護技術チェックリスト達成率	□プリセプター・サポーター評価	
	□事故状況①						□事故状況②	□事故状況③			□事故状況④		